

# 令和5年度 瀬谷区外国人意識調査

## 調査結果報告書

### 概要版

令和5年7月

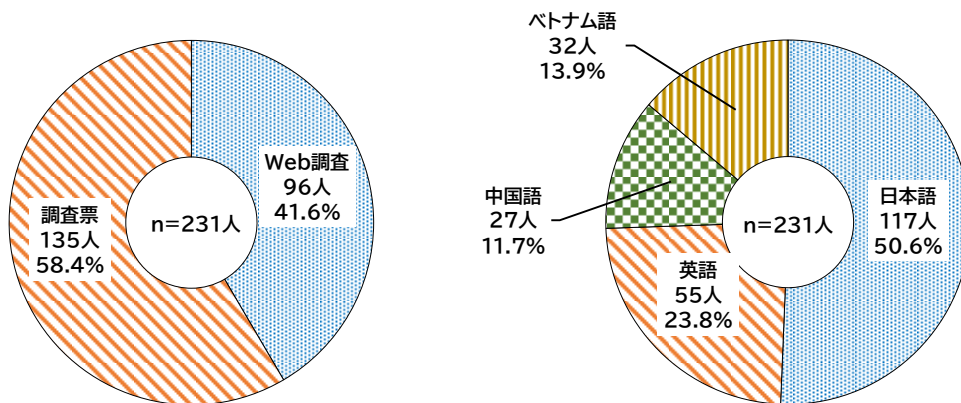
瀬谷区

#### 目次

I. 調査概要.....	1
II. 集計分析結果.....	1
1. 回答者属性.....	1
2. ことばについて.....	4
3. 情報の入手について.....	7
4. 外国人支援（サポート）について.....	8
5. 生活の困りごとについて.....	9
6. 防災について.....	10
7. 居住環境や定住意向について.....	11
8. 地域とのつながりについて.....	13
9. 多文化共生について.....	15
10. その他.....	16

## I. 調査概要

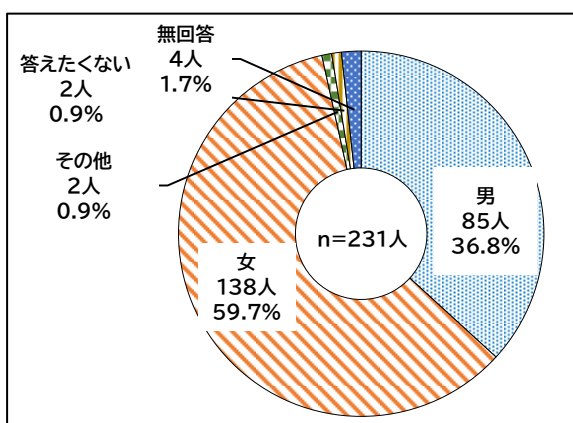
- 調査の目的 : 瀬谷区在住の外国人の抱える課題・ニーズ等を把握し、今後の区政運営や政策立案の基礎資料として活用することを目的に、「瀬谷区外国人意識調査」を実施
- 調査対象 : 瀬谷区内在住の外国人のうち、18歳以上の男女個人700人
- 抽出方法 : 住民基本台帳から無作為抽出
- 調査方法 : 郵送によるアンケート調査(無記名)  
郵送で調査票を送付し、郵送または電子回答
- 調査票対応言語 : 4カ国語(日本語(ルビあり)、英語、ベトナム語、中国語)
- 調査期間 : 令和 5年5月1日(月)～令和 5年5月22日(月)
- 回答方式 : 無記名、選択式(一部記入式)
- 回収数 : 241件(回収率34.4%)、有効回答数231件(有効回答率33.0%)



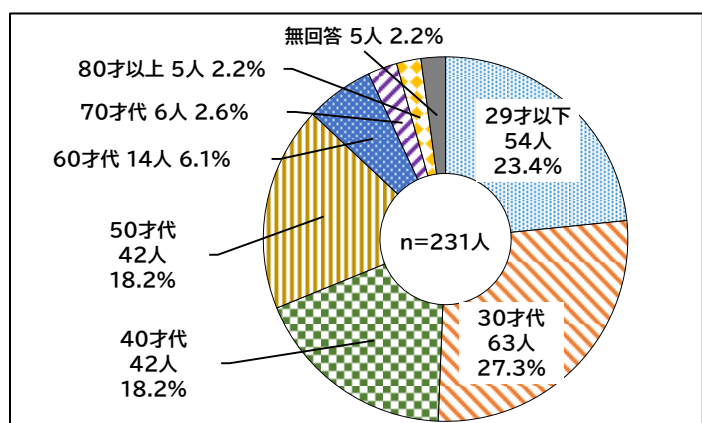
## II. 集計分析結果

### 1. 回答者属性

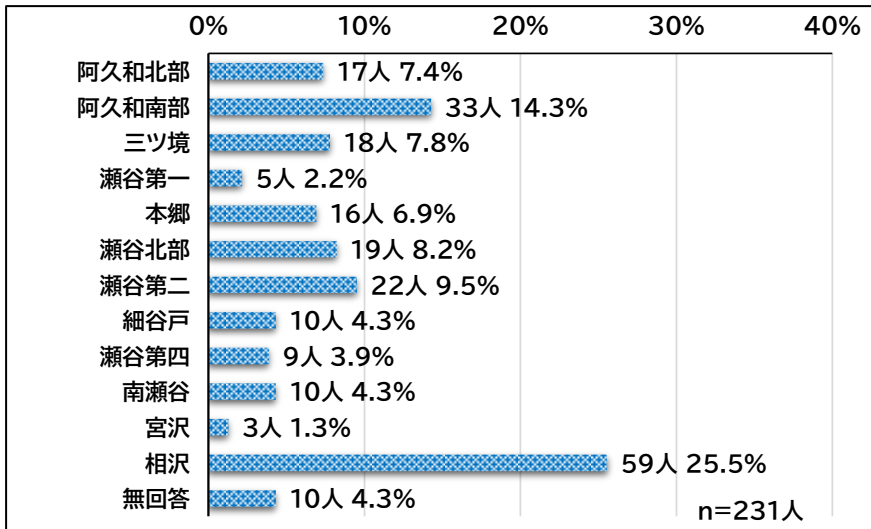
#### 性別 (Q29)



#### 年齢 (Q30)

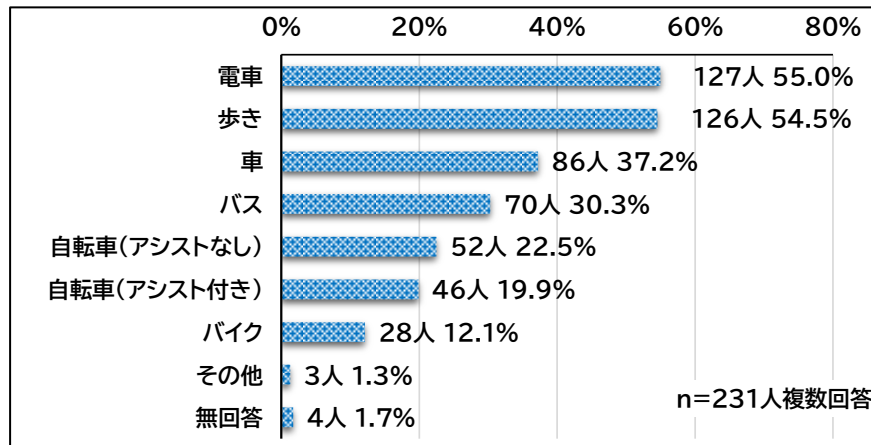


居住地区(13 地区区分) (Q31)

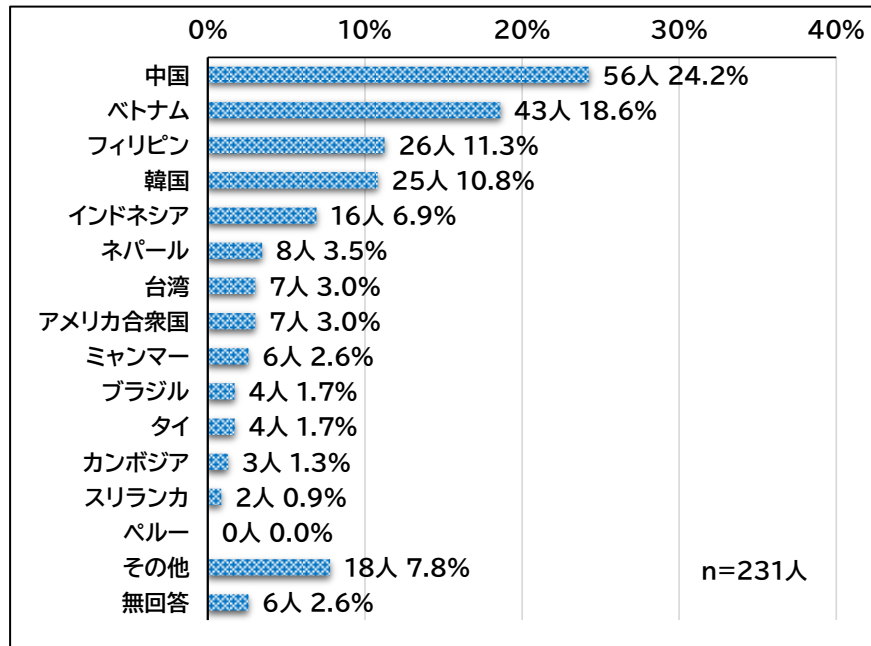


居住地区	町名
阿久和北部地区	阿久和東1丁目、阿久和西1~3丁目
阿久和南部地区	阿久和東2~4丁目、阿久和西4丁目、阿久和南1~3丁目
三ツ境地区	三ツ境
瀬谷第一地区	瀬谷4丁目、中央、本郷4丁目
本郷地区	本郷1~3丁目
瀬谷北部地区	卸本町、上瀬谷町、北町、五貫目町、竹村町、中屋敷1~3丁目、目黒町
瀬谷第二地区	北新、下瀬谷1~3丁目、橋戸1~3丁目、瀬谷5~6丁目
細谷戸地区	瀬谷町
瀬谷第四地区	東野・東野台、ニツ橋町
南瀬谷地区	南瀬谷1~2丁目、南台1~2丁目
宮沢地区	宮沢1~4丁目
相沢地区	相沢1~7丁目、瀬谷1~3丁目

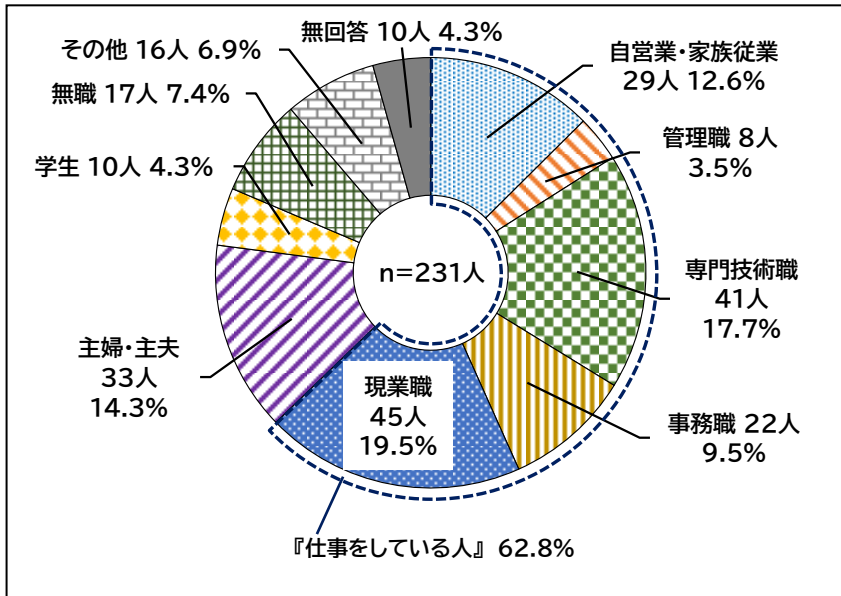
いつも使う移動方法 (Q32)



国籍 (Q33)

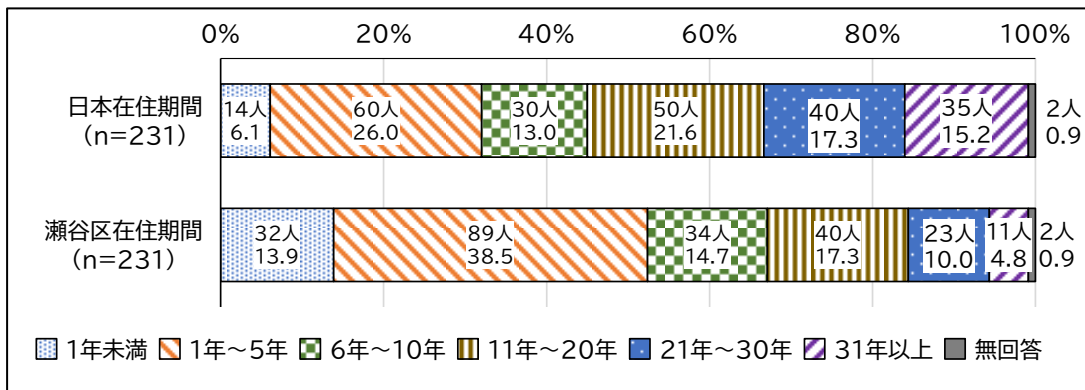


### 主な職業 (Q34)

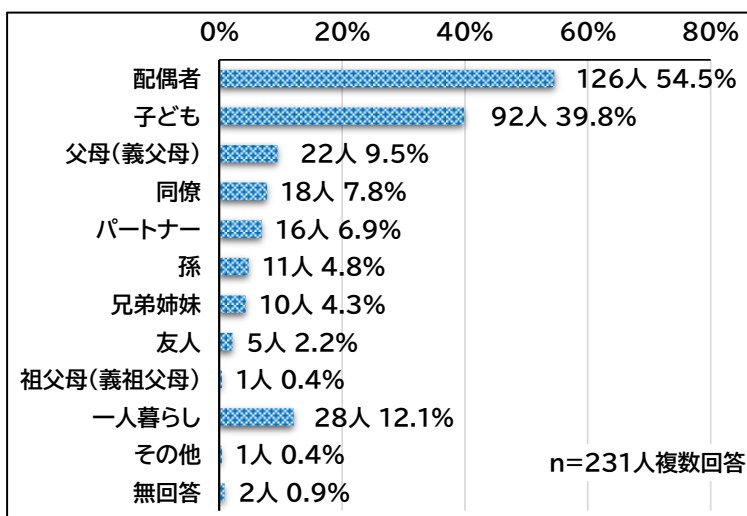


自営業・家族従業	農林漁業、商工サービス業など
管理職	会社の部長以上など
専門技術職	医師、研究所研究員、技師など
事務職	事務、営業、教員など
現業職	生産工程、販売・サービス、保安職など

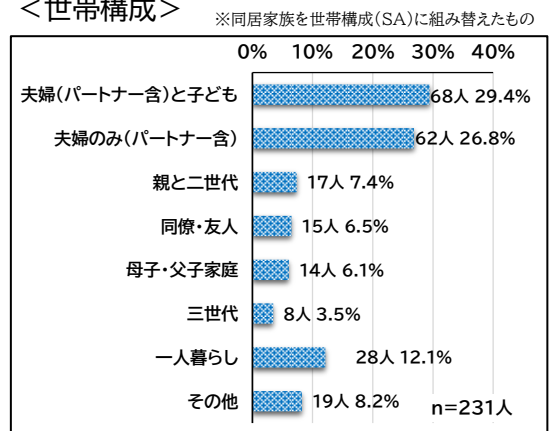
### 在住期間 (Q35\_Q36)



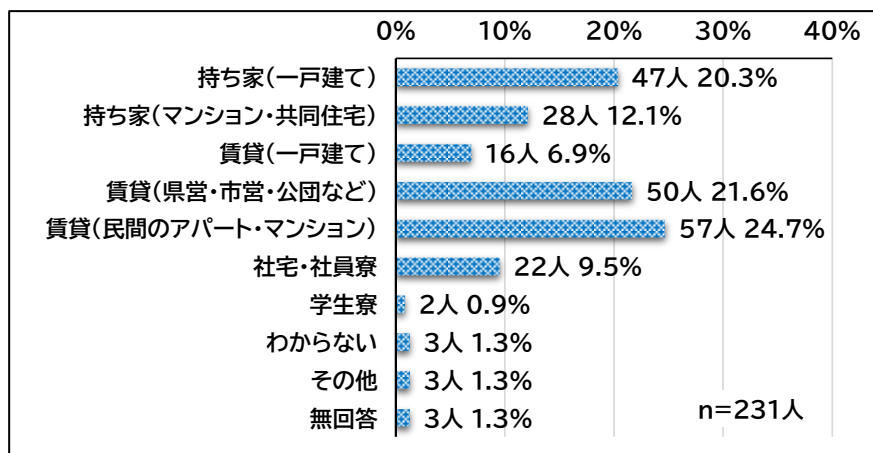
### 同居家族(複数回答) (Q37)



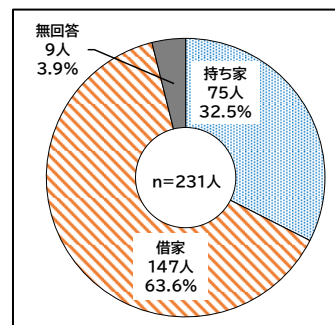
### <世帯構成>



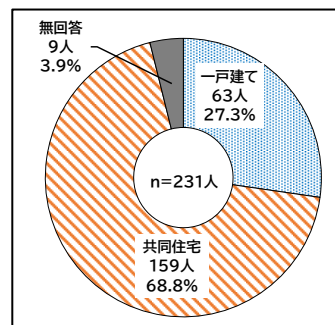
## 住居形態 (Q38)



## <住居所有形態別>



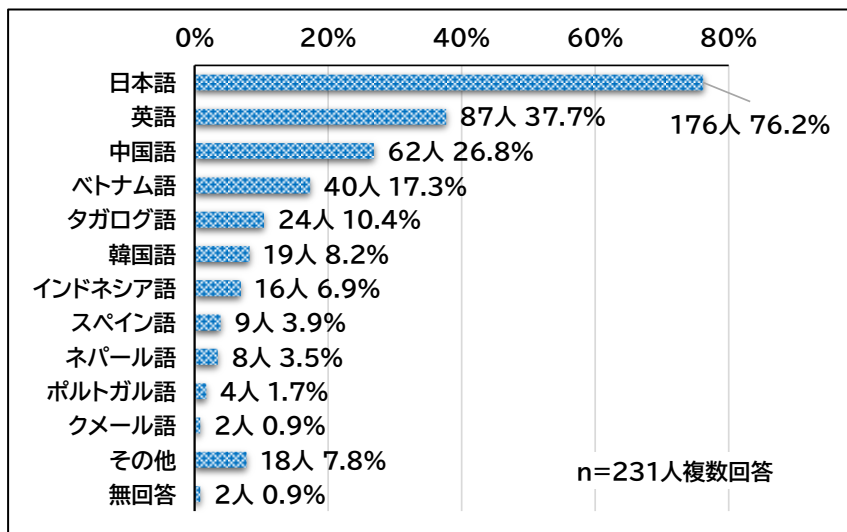
## <住居建築形態別>



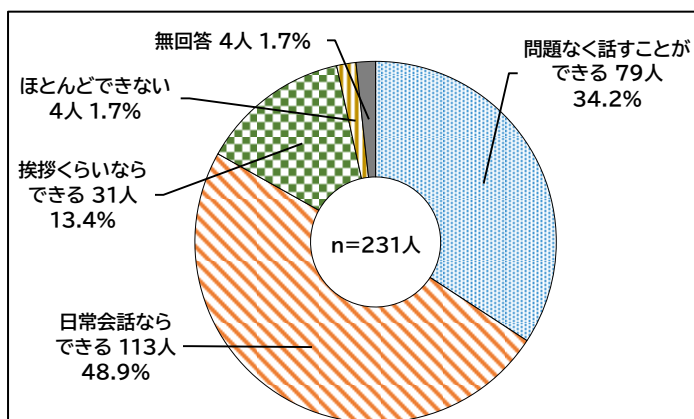
## 2. ことばについて

### Q1 あなたが話せることば(複数回答)

・「日本語」(76.2%)が最も多く、次いで英語(37.7%)、中国語(26.8%)の順である。



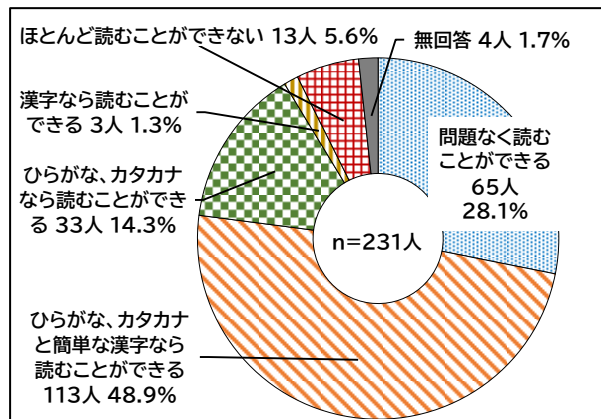
### Q2 日本語での会話ができる程度



・「日常会話ならできる」(48.9%)が最も多く、「問題なく話すことができる」(34.2%)を加えると、日本語で会話ができる人の割合は83.1%である。

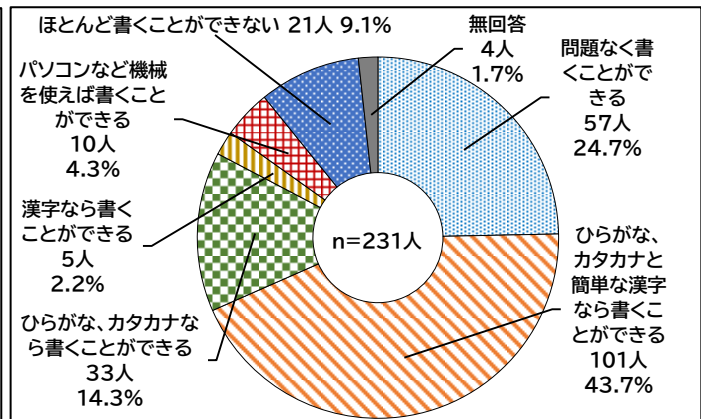
### Q3 日本語を読む能力

・「ひらがな、カタカナと簡単な漢字なら読むことができる」(48.9%)が最も多い。



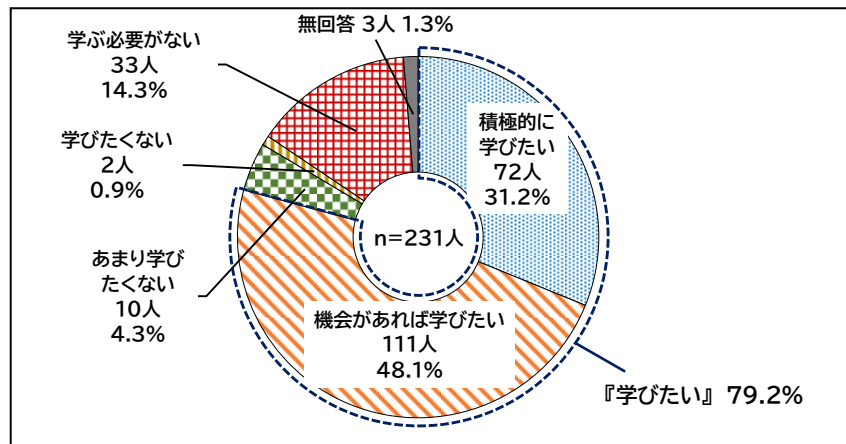
### Q4 日本語を書く能力

・「ひらがな、カタカナと簡単な漢字なら書くことができる」(43.7%)が最も多い。



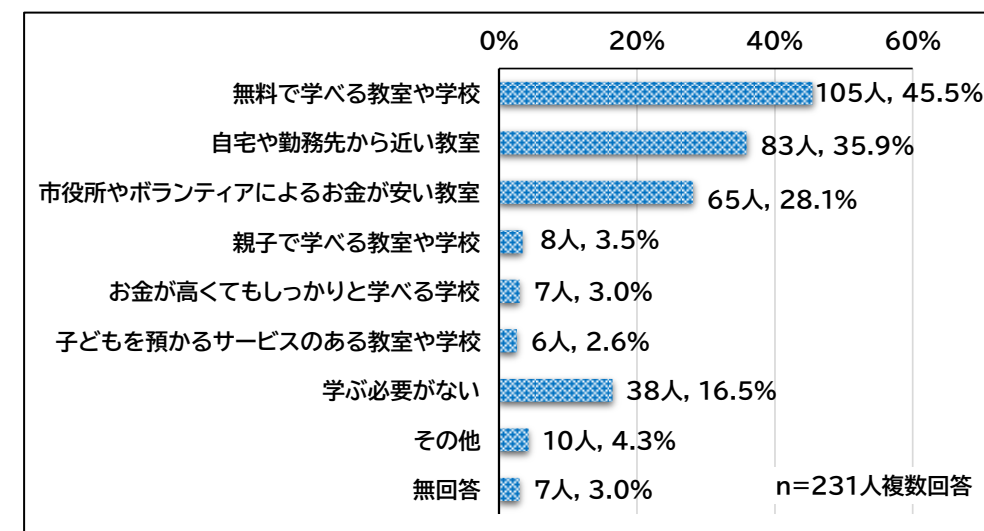
### Q5 今後、日本語を学びたいか

・『学びたい』が79.2%。



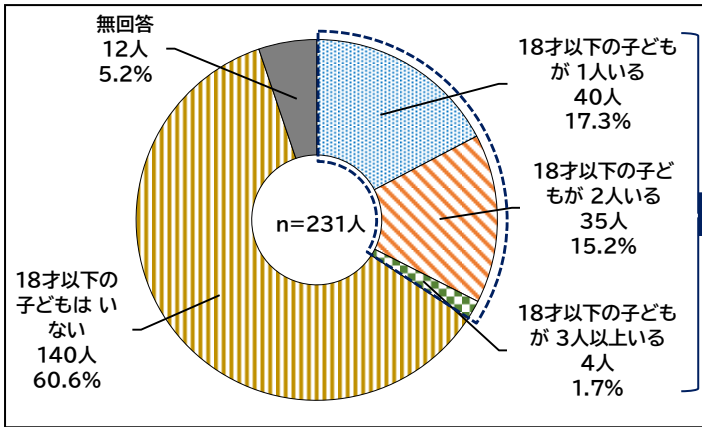
### Q6 日本語を学びたい場所(複数回答)

・「無料で学べる教室や学校」(45.5%)が最も多い。



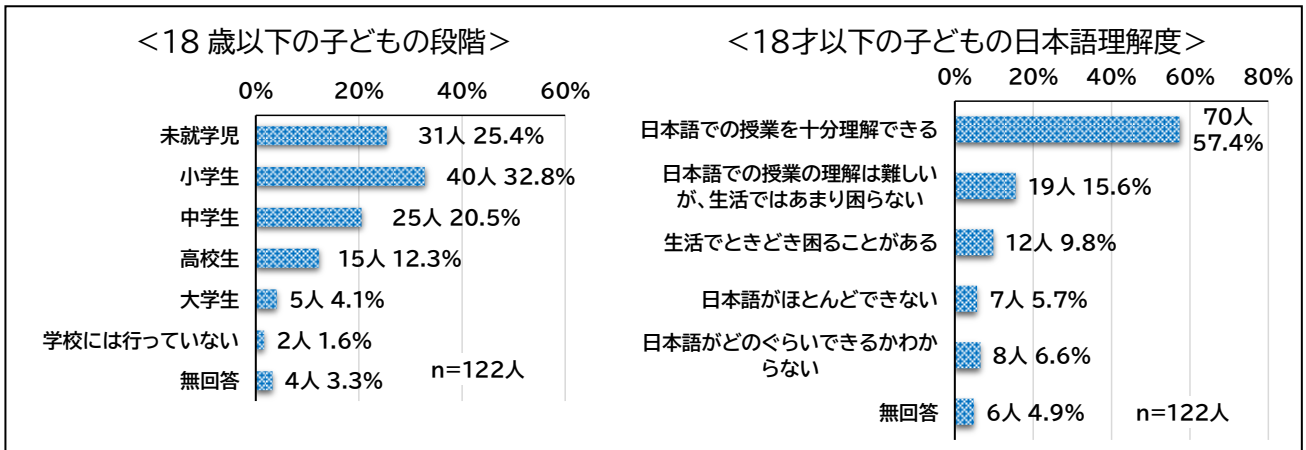
Q7 同居の18歳以下の子どもの有無

・『18才以下の子どもがいる』が34.2%である。



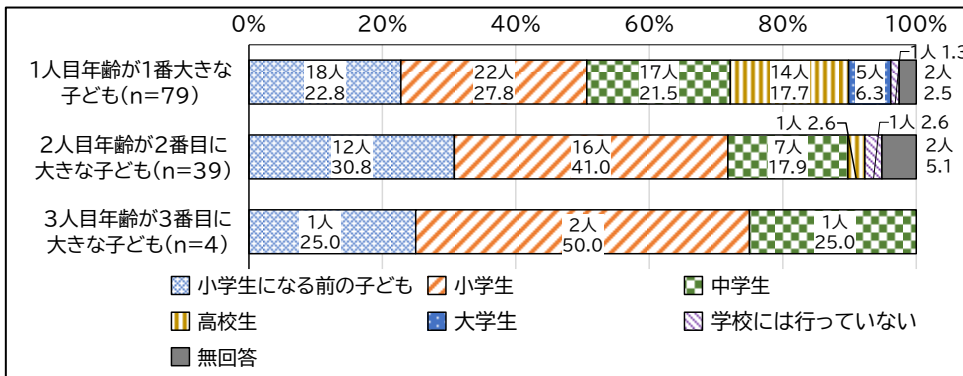
『18才以下の子どもがいる方』79人 34.2%

18歳以上の子どもについて	人数
18才以下の子どもが1人いる	40人
18才以下の子どもが2人いる	35人
18才以下の子どもが3人以上いる	4人



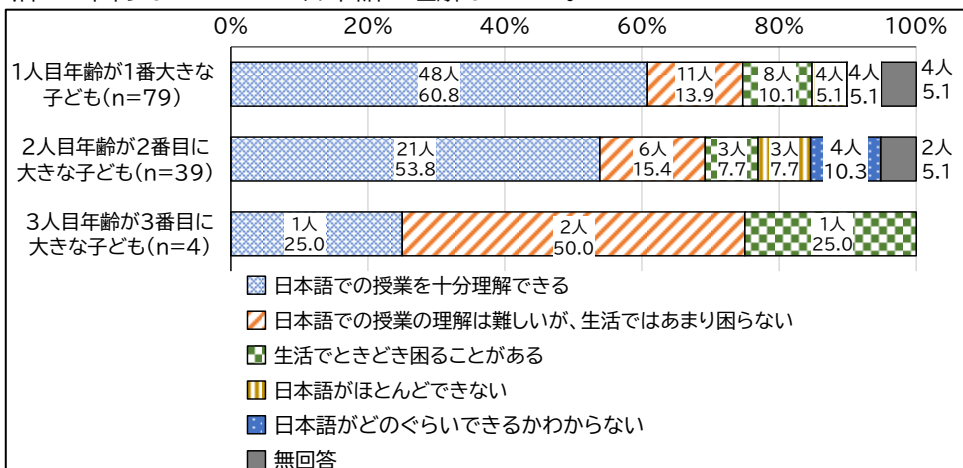
<18才以下の子どもがいる方>

Q8 同居の18歳以下の子どもの段階



Q9 同居の18歳以下の子どもの日本語の理解度

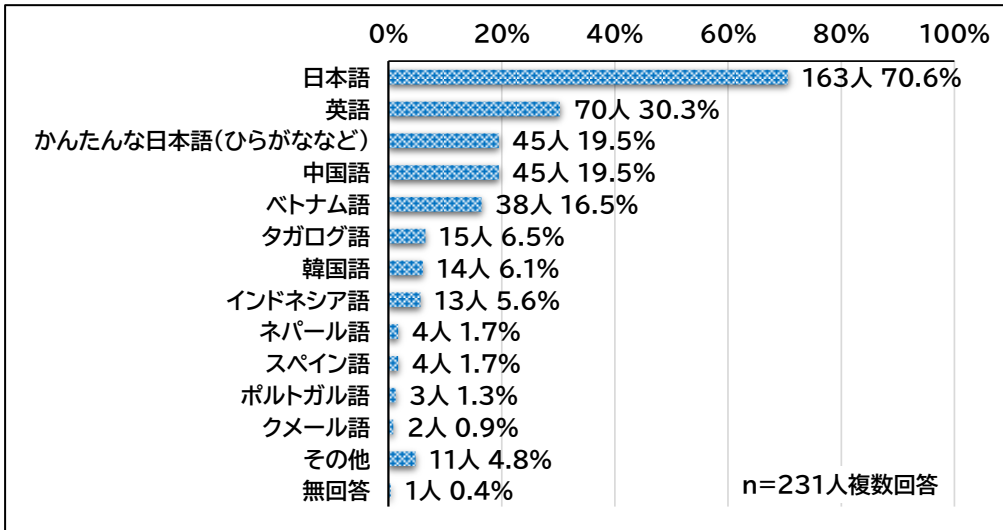
・6割以上が生活では困らないレベルで日本語を理解している。



### 3. 情報の入手について

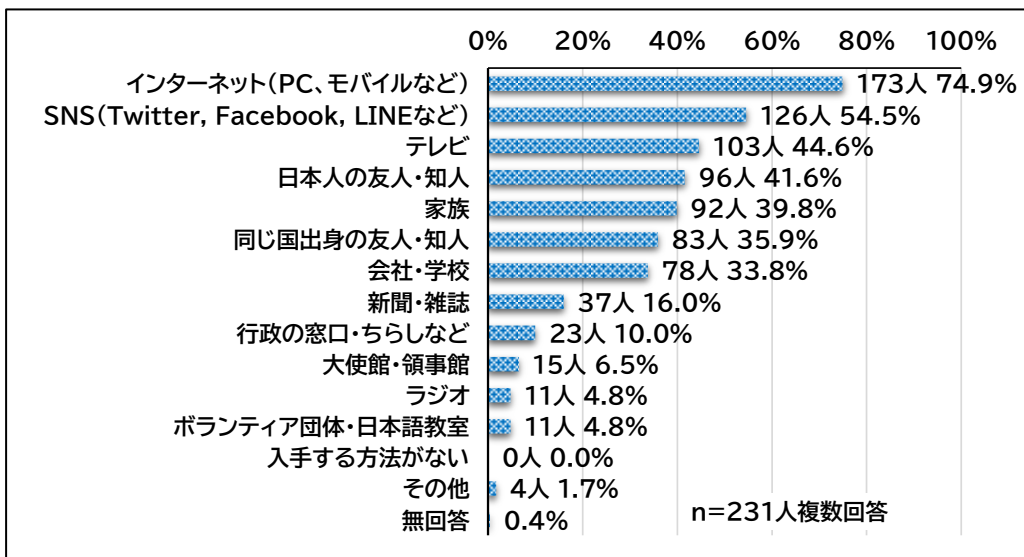
#### Q10 生活に必要な情報を入手する言語(複数回答)

・「日本語」が70.6%、「英語」が30.3%である。



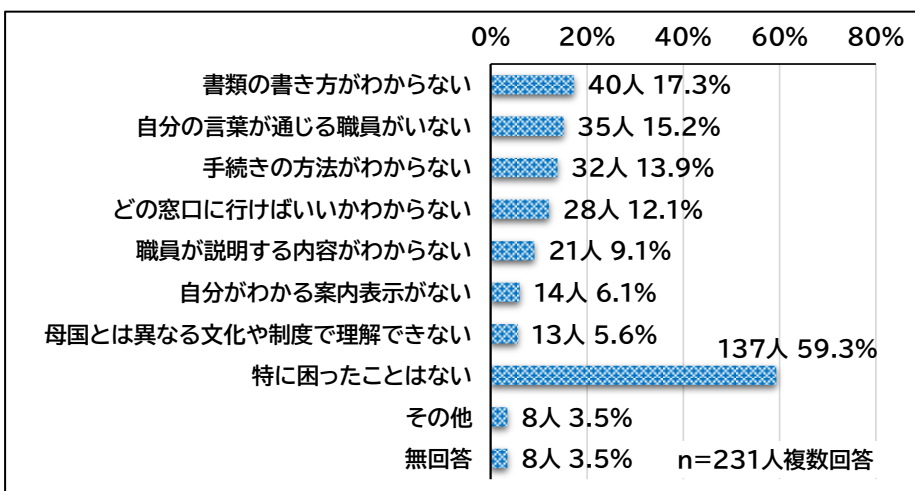
#### Q11 生活に必要な情報を入手する方法(複数回答)

・「インターネット(PC、モバイルなど)」(74.9%)が最も多い。



#### Q12 区役所などの行政窓口で困ったこと(複数回答)

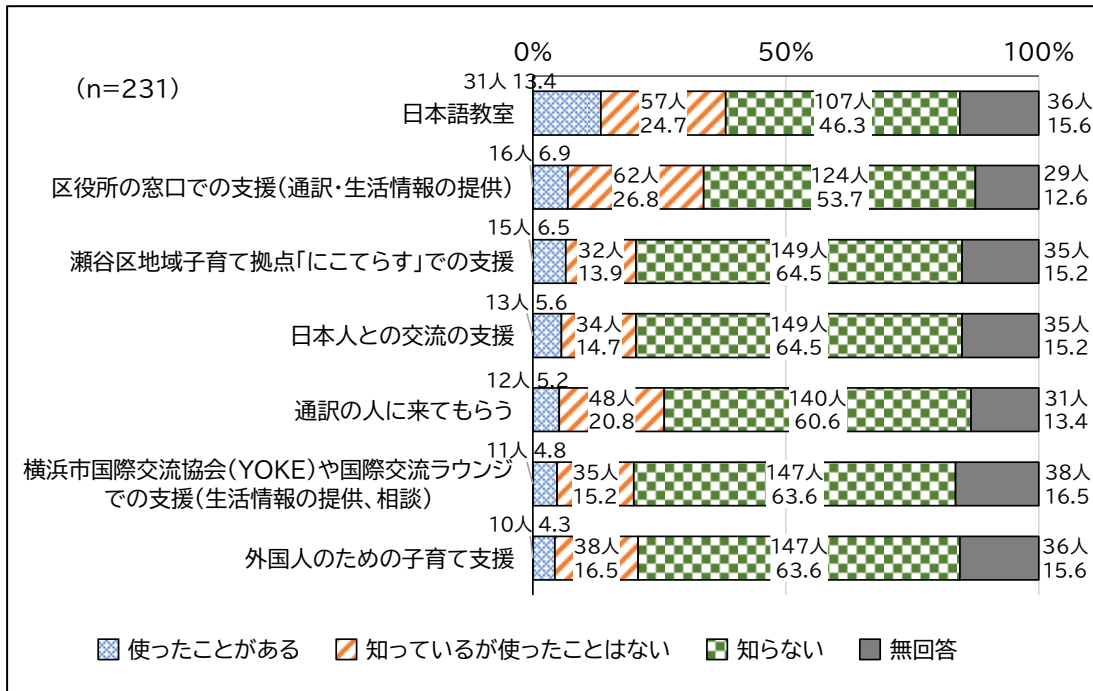
・「特に困ったことはない」(59.3%)最も多い。





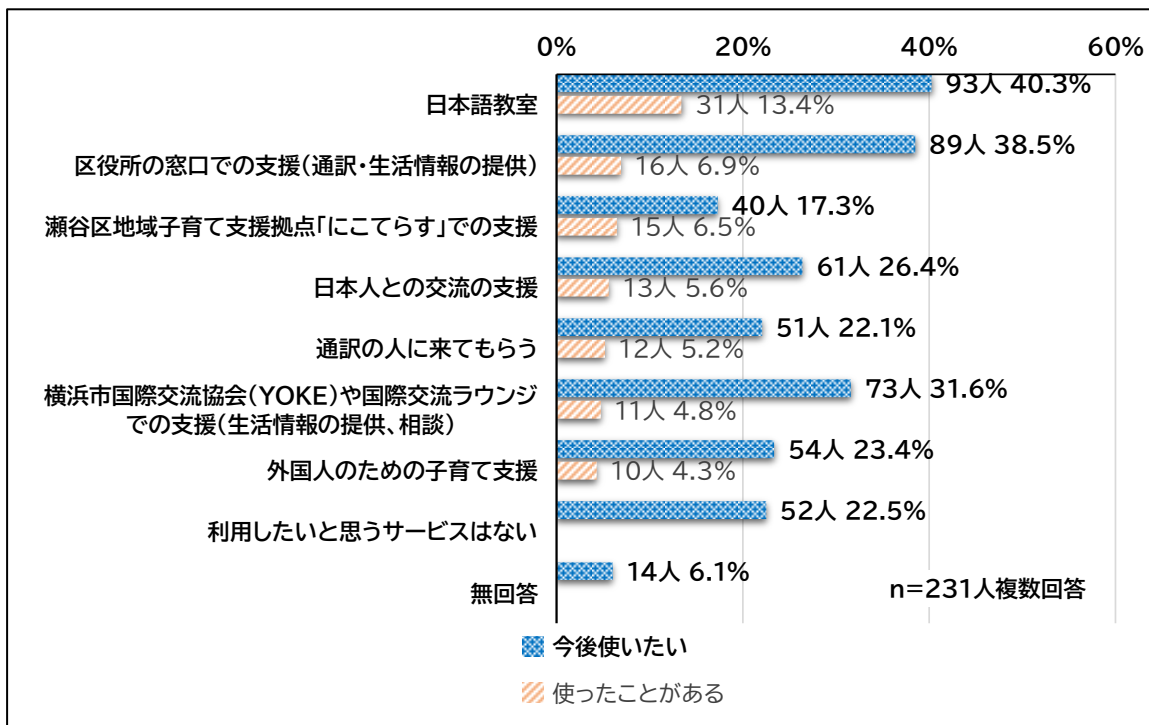
#### 4. 外国人支援（サポート）について

Q13 横浜市役所や区役所、横浜市国際交流協会(YOKE)での支援(サポート)について利用度・認知度  
 ・「使ったことがある」が最も多いのは、「日本語教室」(13.4%)である。



Q14 横浜市役所や区役所、横浜市国際交流協会(YOKE)での支援(サポート)について今後、使いたい  
 ・「今後使いたい」の割合の方が高い上位3位は、「日本語教室」(40.3%)、「区役所の窓口での支援(通訳・生活情報の提供)」(38.5%)、「横浜市国際交流協会(YOKE)や国際交流ラウンジでの支援(生活情報の提供、相談)」である。

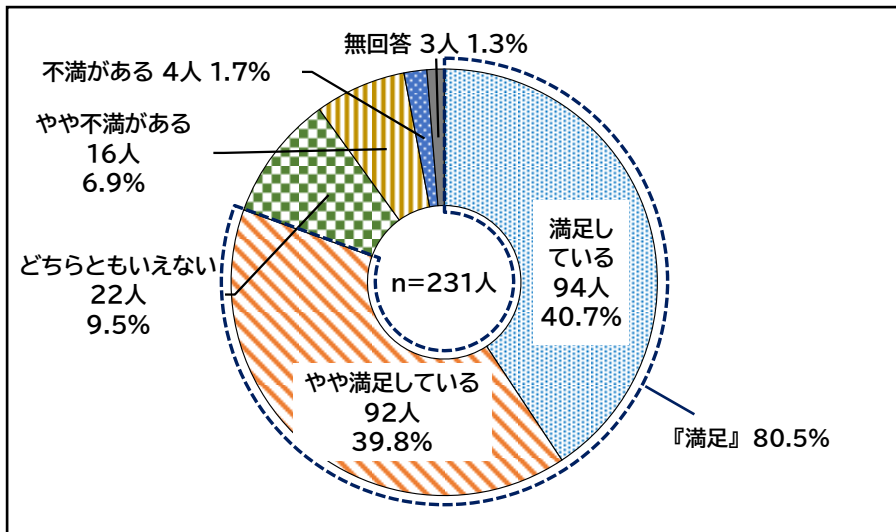
いずれのサポートも「使ったことがある」より「今後使いたい」の割合の方が高い。



## 5. 生活の困りごとについて

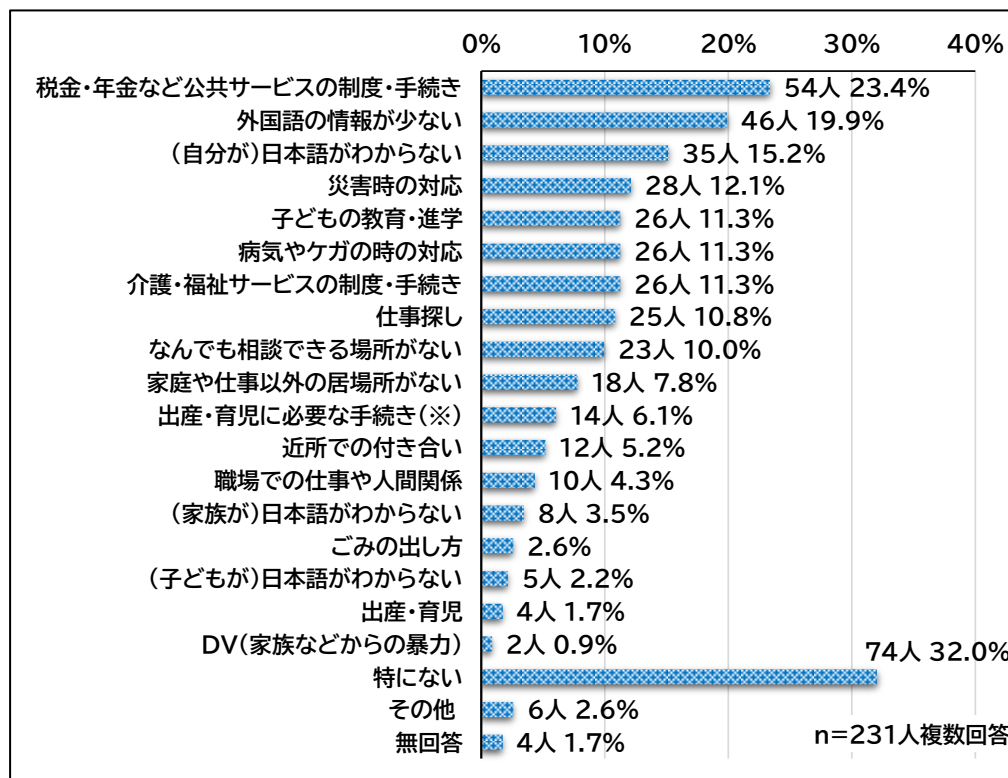
### Q15 今の生活の満足度

・「満足している」(40.7%)と「やや満足している」(39.8%)を合わせると、『満足』が80.5%である。



### Q16 瀬谷区の生活で、困っていることや心配なこと

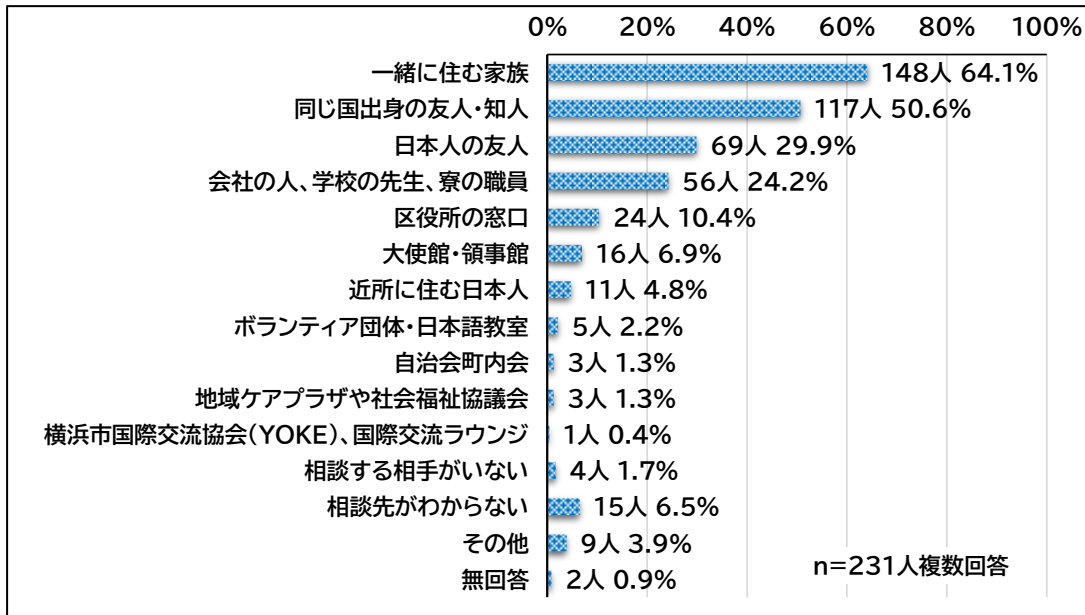
・「税金・年金など公共サービスの制度・手続き」(23.4%)が最も多い。「特にない」が32.0%である。



※ (妊娠・出産した時、保育園や学校のことなど)

### Q17 生活で困ったときや心配なときの相談先

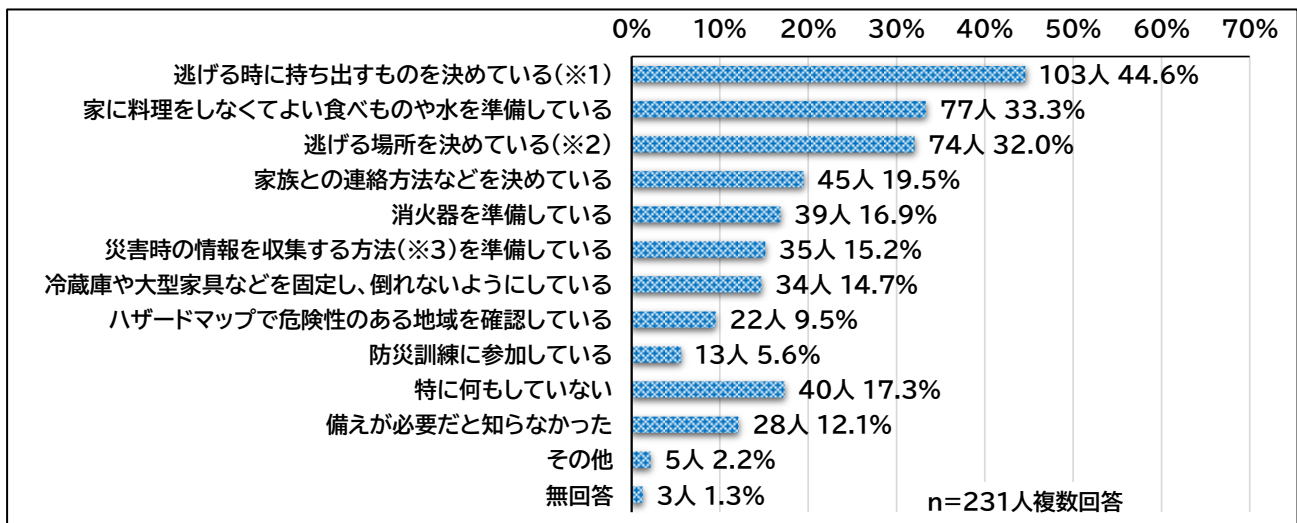
・「一緒に住む家族」(64.1%)が最も多く、次いで「同じ国出身の友人・知人」(50.6%)が多い。



## 6. 防災について

### Q18 災害(地震や台風など)への備え

・「逃げる時に持ち出すものを決めている」(44.6%)が最も多い。



※1 (身分証や薬など)

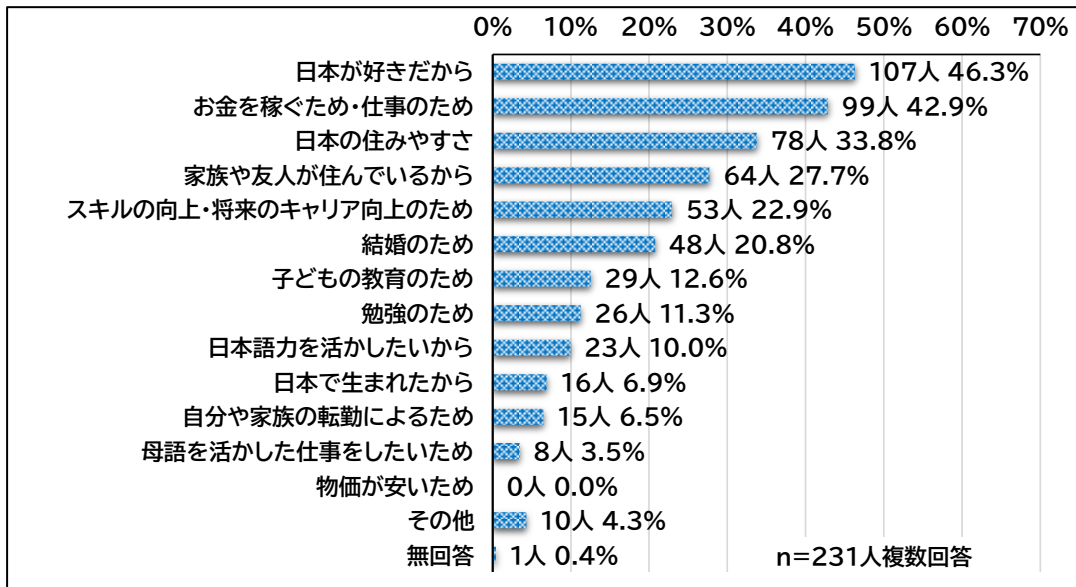
※2 (学校や近くの公園など)

※3 (防災アプリやラジオなど)

## 7. 居住環境や定住意向について

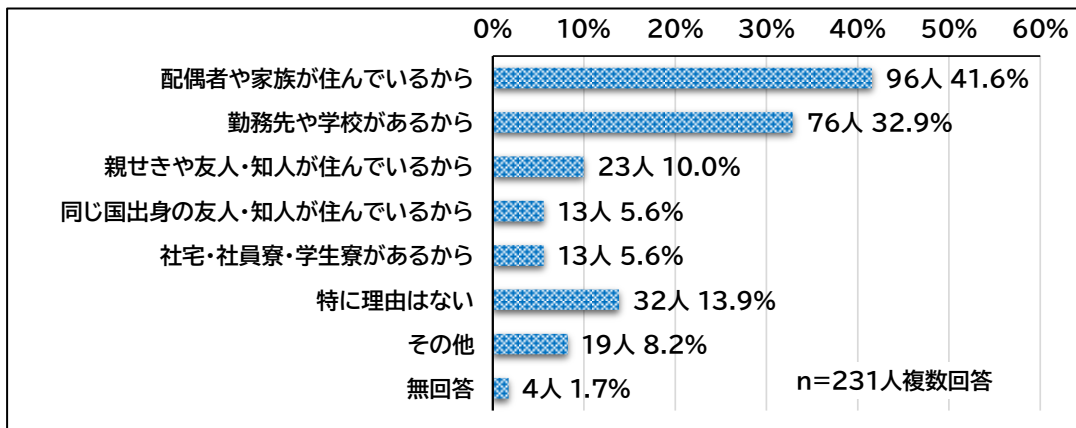
### Q19 あなたが日本に住む理由

・「日本が好きだから」(46.3%)が最も多く、次いで「お金を稼ぐため・仕事のため」(42.9%)が多い。



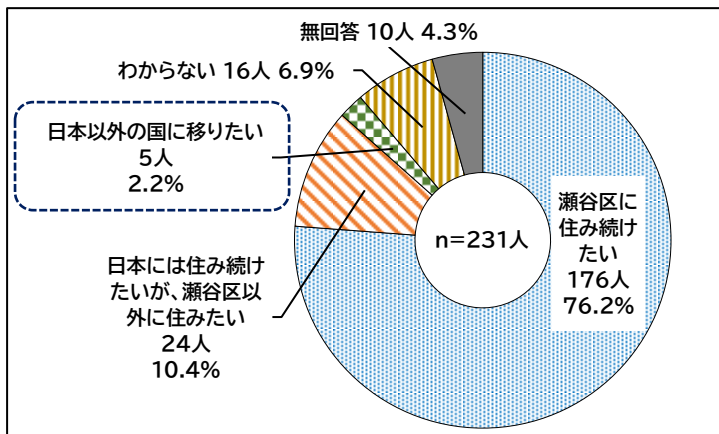
### Q20 あなたが瀬谷区に住む理由

・「配偶者や家族が住んでいるから」(41.6%)が最も多い。



## Q21 日本に住み続けたいか

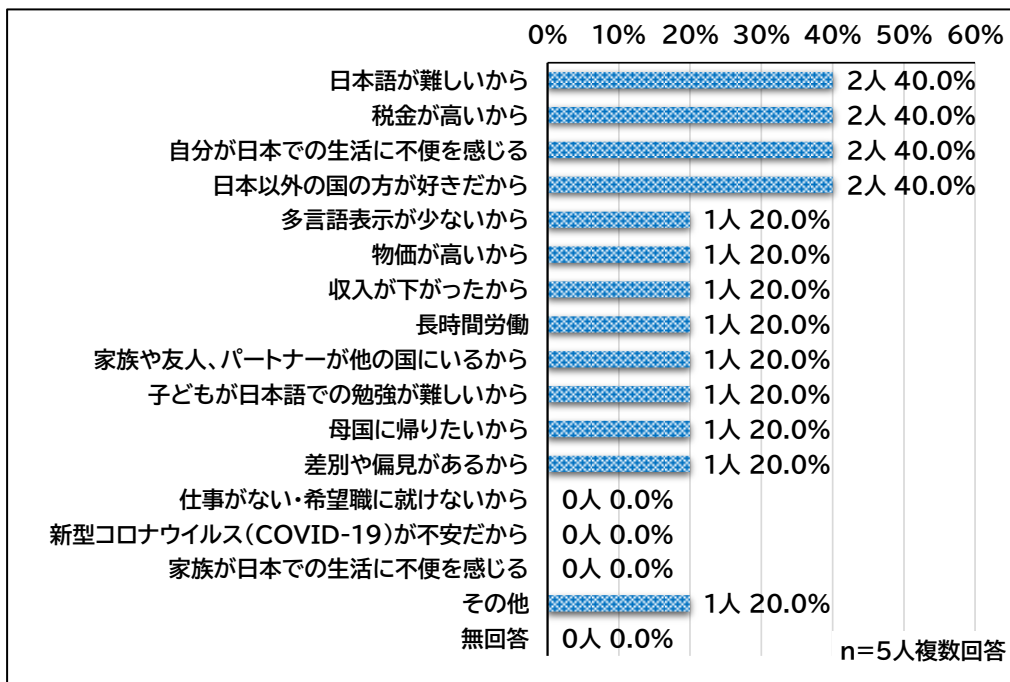
・「瀬谷区に住み続けたい」(76.2%)が最も多い。



### <Q21で「日本以外の国に移りたい」を選んだ方>

## Q22 日本以外の国に移りたい理由

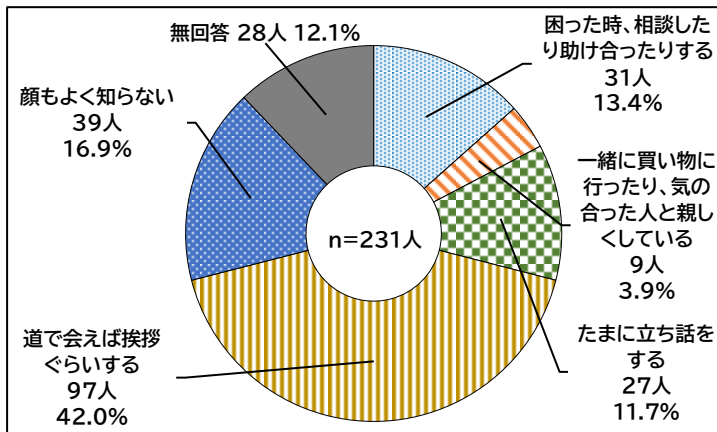
・「日本以外の国に移りたい」のは5人。主な理由は「日本語が難しいから」「税金が高いから」「自分が日本での生活に不便を感じる」「日本以外の国の方が好きだから」。



## 8. 地域とのつながりについて

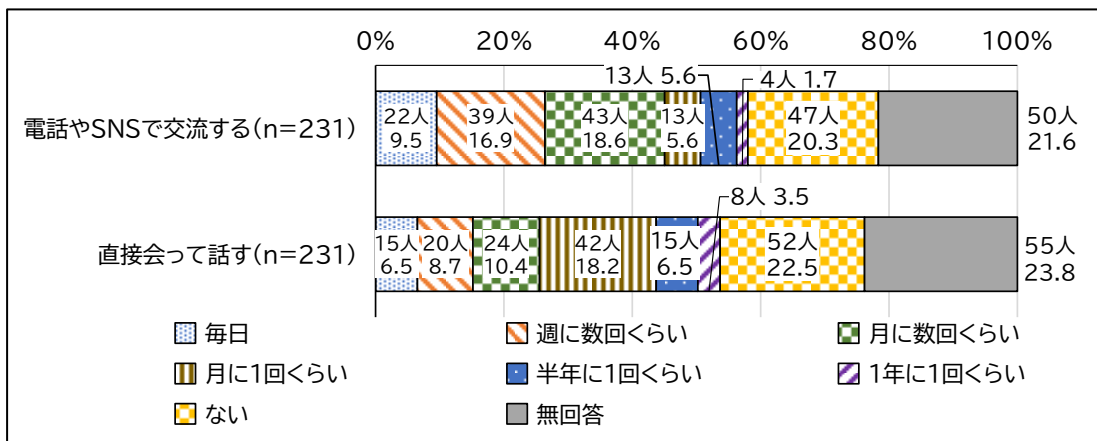
### Q23 近くに住む人との関わり方

・「道で会えば挨拶ぐらいする」(42.0%)が最も多い。



### Q24 近くに住む(横浜市や大和市など)同じ国出身の人との交流

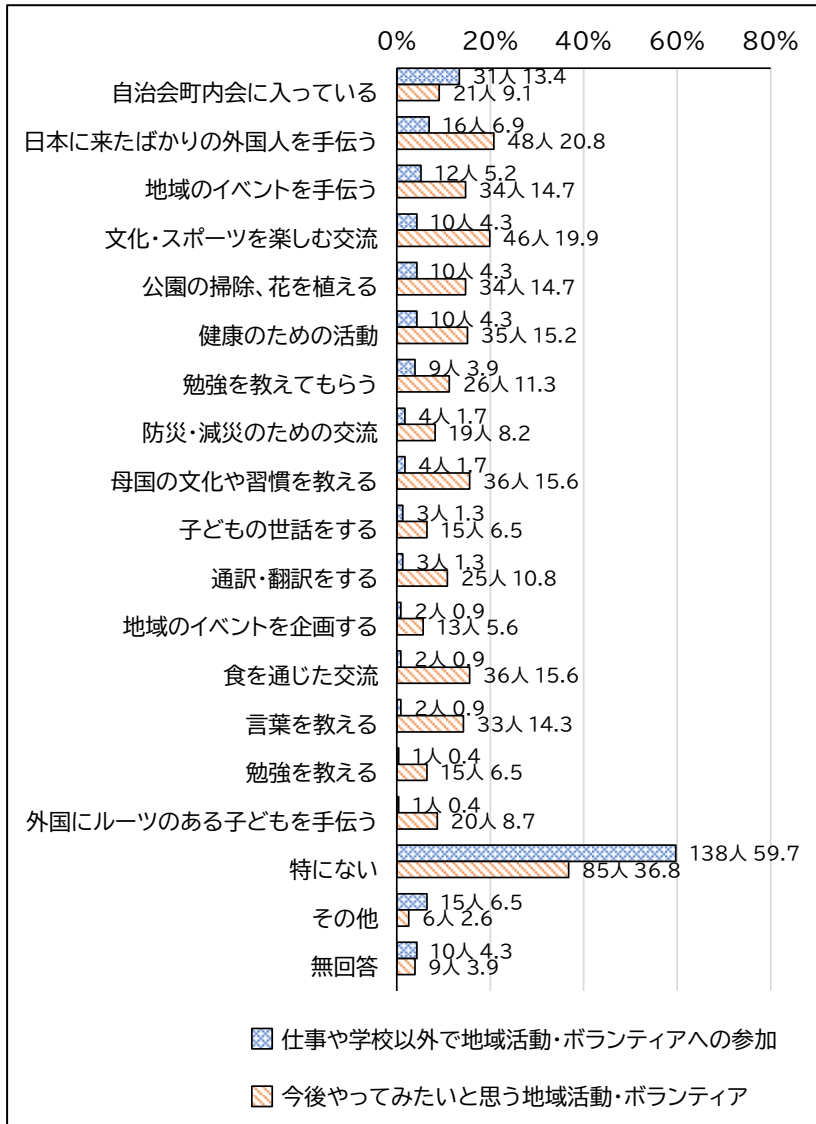
・「電話やSNSで交流する」では「月に数回くらい」、「直接会って話す」では「月に1回くらい」の頻度が多い。



Q25 仕事や学校以外で地域活動・ボランティアへの参加

Q26 今後やってみたいと思う地域活動・ボランティア

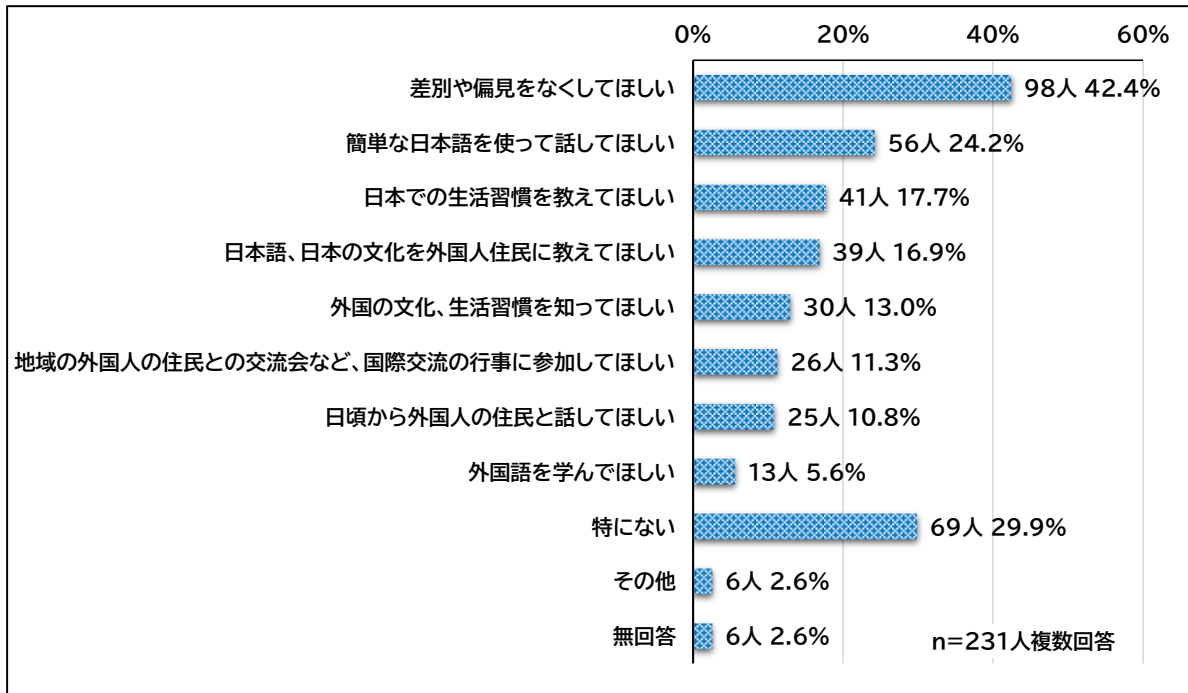
- ・現在参加している仕事や学校以外の地域活動は、「自治会町内会に入っている」(13.4%)が最も多く、今後やってみたい仕事や学校以外の地域活動は、「日本に来たばかりの外国人を手伝う」(20.8%)が最も多い。
- ・現在参加している人と今後やってみたい人の人数を比較すると、「自治会町内会に入っている」以外の全ての活動で「今後やってみたい」の割合が「現在参加している」より高くなっている。



## 9. 多文化共生について

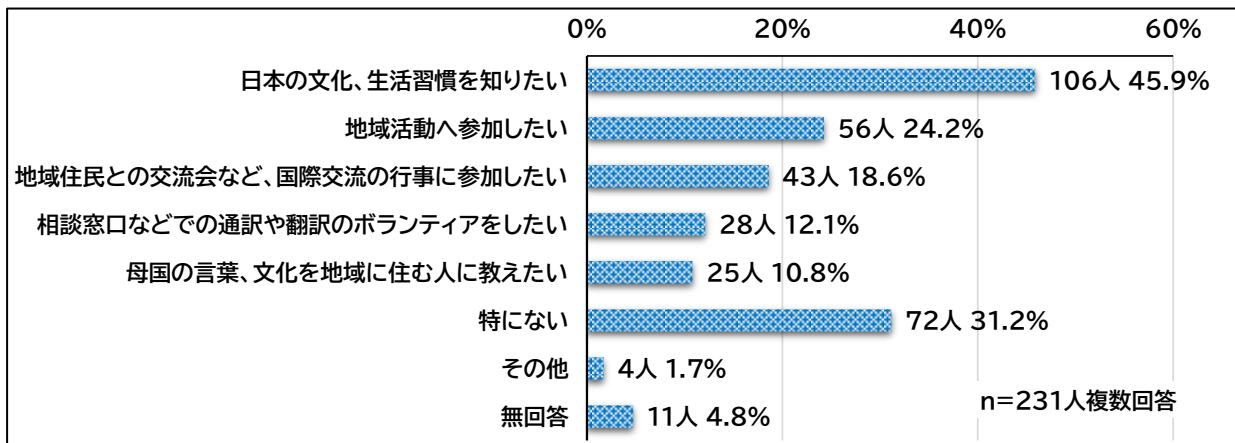
### Q27 地域に住む人にしてもらいたいこと

・「差別や偏見をなくしてほしい」(42.4%)が最も多い。



### Q28 外国人が暮らしやすくなるためにしたいこと

・「日本の文化、生活習慣を知りたい」(45.9%)が最も多い。





## 10. その他

Q39 瀬谷区に取り組んでほしいこと、生活の中で不便に感じていること、困っていること(自由意見)

・70名から93件のご意見をいただきました。

瀬谷区に取り組んでほしいこと、生活の中で不便に感じていること、困っていること			
大項目	小計	記述内容	件数
生活環境	38	交通が不便	8
		失業・経済的に困難	5
		物価・家賃が高い	4
		買い物が不便	3
		病院がほしい、診察時間の拡大	3
		病院に通訳者が必要	3
		ごみ問題	3
		公園がほしい	2
		社会が外国人に開かれてほしい	2
		家庭菜園や家畜を飼う場所がほしい	1
		子供のためのレストランが少ない	1
		学校の配布物などの電子化	1
		家にガス管を通してほしい	1
		アパートが地図に不記載のため宅配物を誤配される	1
地域	20	交流したい、理解し合う	8
		言語がネック	4
		支援・貢献したい	2
		偏見がある	2
		優しくしてほしい	2
		動物や地球に優しく	1
		オートバイの騒音	1
		通訳・翻訳が必要	9
行政	14	経済的支援がほしい	3
		役所の開所時間を長く	2
		宗教	3
その他	10	安全・安心(防犯・防災)	3
		その他	3
		緑の保全	2
		家族のビザが心配	1
		不明	1
良い評価	8	皆親切・友好的	3
		感謝・評価	2
		瀬谷区は便利	2
		不愉快・困難な経験はない	1
合 計			93

Q40 このアンケートの中でわからなかった言葉

・「特にない」(63.2%)が6割以上であるが、わからなかった言葉では、「横浜市国際交流協会(YOKE)、国際交流ラウンジ」(15.2%)が最も多い。

